

通販・EC市場、12.7兆円規模へ

JADMA「2022年度通販市場売上高調査」

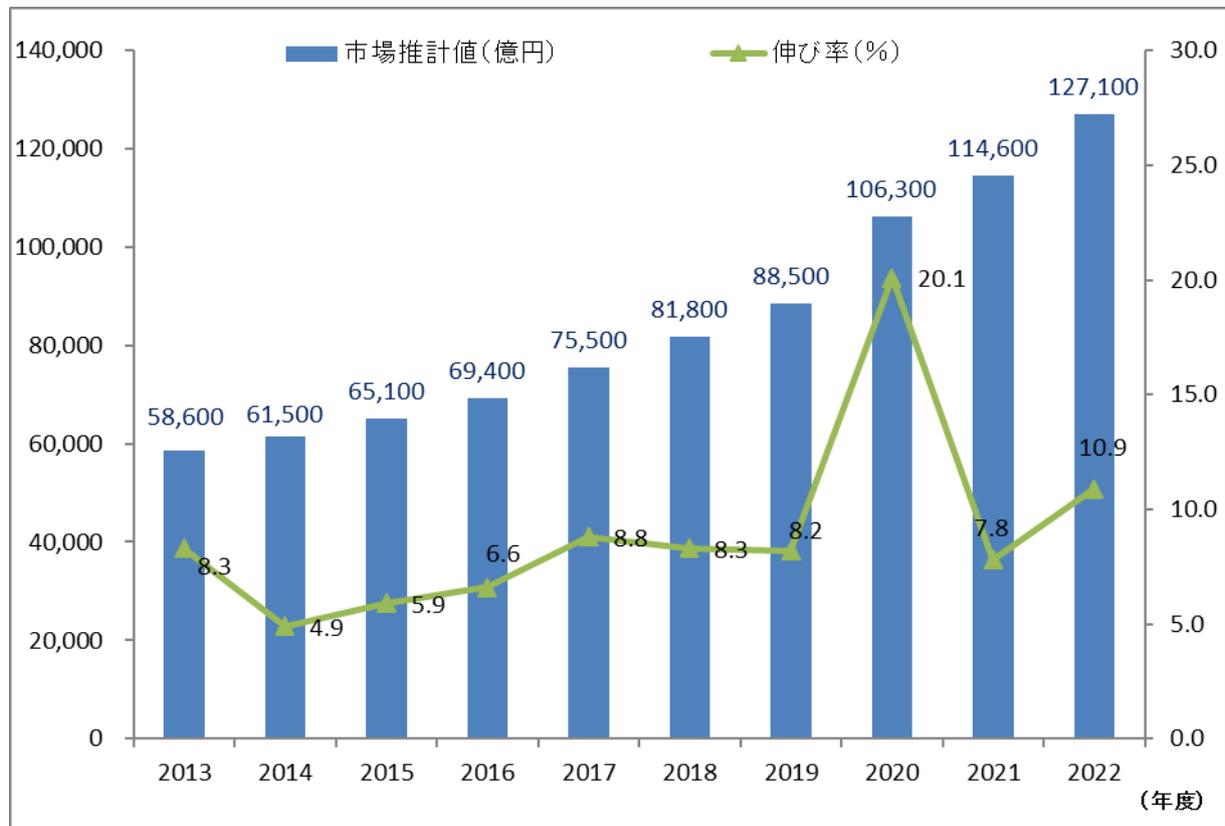
前年比10.9%増 ウィズコロナでも堅調な推移

公益社団法人 日本通信販売協会（略称＝JADMA、栗野光章会長、正会員415社：8月24日現在）では、2022年度（2022年4月－2023年3月）の通信販売（EC含む）市場の売上高について調査を行い、このほど速報値がまとまりました。

調査結果によると、2022年度の通販の売上高は、前年比10.9%増の12兆7,100億円となり、金額ベースでは前年に比べ1兆2,500億円の増加となりました。

コロナ需要が徐々に落ち着く一方、対面イベントや店舗販売など通販以外の市場も回復が見られ、消費者行動が多様化する中、2022年度の伸び率は前年を3.1ポイント上回る動きとなりました。直近10年の平均成長率は9.0%と、マイナス成長を記録した1998年度以来、24年連続して増加傾向が続いています。

通販・EC市場の傾向として、BtoBやモール系が堅調であること、商材では衣料品や、化粧品、食料品（健康食品を含む）が好調であることが挙げられます。



■2022年度通信販売市場調査の概要について

- ・通販市場の売上高は、会員情報に加えて、当協会会員 418 社（調査時点）を対象に実施した「第 41 回通信販売企業実態調査」から得た回答の売上部分を先行集計した結果と、各種調査から推計できる有力非会員 355 社の売上を加えて算出しております。
(調査期間：2023 年 6 月 22 日～8 月 14 日)
- ・推計値は、衣料品や雑貨、化粧品、健康食品などの物販が中心となります。
- ・本年 11 月に商品別や媒体別などを分析したレポート「第 41 回通信販売企業実態調査報告書」として刊行予定です。

--本件に関するお問合せ先--

公益社団法人日本通信販売協会 事務局

担当：三浦・渡辺・小川

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 3-2 リブラビル 2 階

TEL：03-5651-1155 FAX：03-5651-1199